

基本目標 3

地域の持つ可能性を活かした

魅力あるまちをつくる

《産業振興》

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	85
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	土地基盤整備事業の促進		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項5目 農地費	新市基本計画	○
	予算事業名	土地基盤整備事業(小規模土地改良事業)	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 1 農業生産基盤の充実	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	農業生産基盤の充実農業の効率化や生産性の向上を図るため、国営かんがい排水事業(印旛沼二期地区)など基盤整備事業や土地改良事業を促進し、優良な農地や農業水利、農業用施設等の確保充実を図る。		
事業内容等	事業年度	昭和54年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	担い手(経営体)が効率的かつ意欲的に高生産性農業に取り組めるように、水田の大区画化、排水整備等の基盤整備を行い、遊休化する農地の防止及び優良農地の確保を図る。		
	対 象	市内農業者等		
	根拠法令・関連計画 等	印西市農林振興対策事業補助金交付要綱、国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金に関する協定書		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・小規模土地改良事業への補助 ・国営かんがい排水事業(国営印旛沼二期地区)の促進	・小規模土地改良事業補助金 12件 2,802,002円	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					4,224,000	4,224,000
		予算現額					4,224,000	4,224,000
		決算額					3,959,717	3,959,717

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	会議等での調整	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	水田の基盤整備を促進し、遊休化する農地の防止及び優良農地の確保を図る。		目標値				
			実績値				
	小規模土地改良実施面積	ha	目標値	0	0	1.8	2.0
			実績値	0	0	1.5	4.4
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	国営かんがい排水事業(印旛沼二期地区)による大規模な揚排水機場、幹線用排水路の整備、小規模土地改良事業による農業生産基盤の拡充を図ることで市内の優良な農業環境の確保を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要				事業番号	86
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	農業経営基盤強化促進事業			
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班			
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	農業経営基盤強化促進事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3-①-1 農業生産基盤の充実 3-①-2 意欲ある多様な農業者の育成と支援	スマイルプラン	スマイル1	
	施策の方向性	3-①-1 農業生産基盤の充実 市内農家の効率的かつ安定的な農業経営に資するため、農地の基盤整備や優れた営農技術の導入を促進していくとともに、意欲的な担い手への優良農地の集積と遊休農地の解消のための取り組みを推進していきます。 3-①-2 意欲ある多様な農業者の育成と支援 農業従事者の高齢化や離農の増加を食い止め、地域の農業を未来に引き継いでいくため、意欲あふれる農業後継者、新規就農者の育成・確保を図っていくとともに、多様な農業経営体を育成し、経営の効率化につなげていきます。			
事業内容等	事業年度	昭和55年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	農業が国民経済の発展と国民生活の安定に寄与していくために、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき、農業の担い手の育成・確保及び農地の有効利用・保全活動等を一体的に行う。			
	対 象	担い手となり得る農業者（専業、兼業問わず・営農組織等） 農地の貸し手となり得る農業者（専業、兼業問わず・小規模農家等）			
	根拠法令・関連計画 等	農業経営基盤強化促進法 経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（平成26年9月改定）			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・担い手農家の育成、確保 ・農用地の利用集積 ・制度資金の実施		・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書作成会を開催した。 ・農用地の利用集積を行った。 ・制度資金の利子補給を行った。	

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		33,000			904,000	937,000
		予算現額		33,000			904,000	937,000
		決算額		44,238			353,984	398,222

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	認定農業者の啓発回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	1	2	2
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
成果指標	認定農業者数	人	目標値	47	48	49	50
			実績値	47	52	53	51
	農地流動化面積	ha	目標値	150	165	180	200
			実績値	268	293	337	420
			目標値				
			実績値				

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に基づき、農業の担い手の育成・確保及び農地の有効利用・保全活動を継続する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	87
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	耕作放棄地解消事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	遊休農地解消事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 1 農業生産基盤の充実	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	関係機関等との連携のもと、農業者の意向や農地の利用状況等を把握し、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を促進するとともに、遊休化した農地の解消や再生のための取り組みを推進する。		
事業内容等	事業年度	平成19年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	耕作放棄地の活用・解消に向け策定した「耕作放棄地解消計画」に基づき、農業生産にとって重要な基盤である農地を復元する。		
	対 象	市内の農地		
	根拠法令・関連計画 等	印西市耕作放棄地解消計画(平成24年3月策定)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	- 耕作放棄地再生作業 - 耕作放棄地解消に向けた啓発活動 - 耕作放棄地再生への支援	- 耕作放棄地再生作業を船尾字新田地区の15aで実施した。 - 耕作放棄地解消に向けた啓発活動を広報により実施した。 - 耕作放棄地再生への支援として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業を実施した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	耕作放棄地解消事業の実施	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	3	9	2	1
			目標値				
			実績値				
成果指標	耕作放棄地解消面積 (累計)	ha	目標値	12	14	17	20
			実績値	8.3	11.4	12.3	12.4
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	米価の低迷等の影響もあり事業実績が伸びなかった。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	米価の低迷等の影響もあり事業実績が伸びなかった。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	遊休農地の解消・再生は喫緊の課題であるため、今後も制度の周知徹底を図り事業を推進する。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も、印西市遊休農地再生対策協議会及び関係機関等との連携のもと農業者の意向や農地の利用状況等を把握し、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を促進するとともに、耕作放棄地解消事業の周知徹底を図り遊休化した農地の解消や再生のための取り組み推進して行く。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	88
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	農地中間管理事業	
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班	
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画
	予算事業名	農地中間管理事業に要する経費	主要事業 ○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 1 農業生産基盤の充実	スマイルプラン スマイル1
	施策の方向性	市内農家の効率的かつ安定的な農業経営に資するため、農地の基盤整備や優れた営農技術の導入を促進していくとともに、意欲的な担い手への優良農地の集積と遊休農地の解消のための取り組みを推進していきます。	
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の発生を未然に防止するため、農地中間管理事業による農地の賃借等を促進し、農地の集団化・経営規模の拡大・新規参入を進めるもの。	
	対 象	農地の所有者及び農地の担い手	
	根拠法令・関連計画 等	農地中間管理事業の推進に関する法律	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	農地中間管理事業の促進 農地集積・集約化対策事業の実施	農地中間管理事業の促進 農地集積・集約化対策事業の実施

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		3,200,000		1,963,000		5,163,000
		予算現額		3,200,000		1,963,000		5,163,000
		決算額		1,200,000		1,149,000		2,349,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	事業制度PR活動(広報、HP、説明会等)	回	目標値				3
			実績値				4
			目標値				
			実績値				
成果指標	農用地利用配分計画の面積 (担い手への集積)	ha	目標値				3
			実績値				3
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の発生を未然に防止するため、引き続き、農地中間管理事業の促進を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	89
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	家畜防疫事業			
	担当部署名	環境経済部農政課 農政班			
	款項目及び予算名	5款1項4目 畜産業費	新市基本計画		
	予算事業名	家畜防疫事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - 1 農業生産基盤の充実	スマイルプラン	スマイル1	
	施策の方向性	市内農家の効率的かつ安定的な農業経営に資するため、農地の基盤整備や優れた営農技術の導入を促進していくとともに、意欲的な担い手への優良農地の集積と遊休農地の解消のための取り組みを推進していきます。			
事業内容等	事業年度	昭和40年代から実施			
	事業の実施目的及び概要	家畜防疫協会実施事業への補助を通じて、臭気問題や疾病問題など営農環境面の改善に努めていくと共に、畜産物の品質向上に努め、地産地消を推進する。			
	対 象	酪農2戸、養豚3戸、養鶏2戸			
	根拠法令・関連計画 等	家畜伝染予防法等			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	- 牛のアカバネ病予防接種 - 牛の結核病・ブルセラ病・ヨーネ病予防接種 - 鶏のニューカッスル病抗体検査 - 鶏舎環境等サルモネラ検査 - 臭気対策に関する環境指導 - サイレージ品評会 - いんざい産業まつりへの出店	各種予防接種や検査を行うことにより、安全な畜産経営の推進を図った。また、印西産業まつりを通じて、市民に地元畜産物を提供することにより、市の畜産振興に寄与した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					193,000	193,000
		予算現額					193,000	193,000
		決算額					187,400	187,400

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	予防接種及び抗体検査頭数	頭	目標値	60	60	60	60
			実績値	41	41	29	204
	環境衛生資材配布数	戸	目標値	14	14	14	14
			実績値	11	9	8	7
	環境指導	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	家畜疾病の発生件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0
	臭気の苦情件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	1	0	0
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	畜産農家に対し環境衛生資材の配布を行っているが、営農する農家が目標値の約半数まで減少してしまったことにより、目標値を下回ったもの。平成27年度は4年に1回行われる牛の予防接種があったため、目標値を大幅に上回った。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	臭気に関する苦情もなく、疾病の発生もなかったので安定した営農が行われている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	伝染性疾病が発生してしまうと、疾病が沈静化するまでに相当な時間と費用がかかる他、周辺住民の生活不安や市内畜産物への風評被害等、様々な問題が発生するため、今後も継続した疾病予防対策が必要である。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	営農農家数が年々減少してはいるが、伝染病の発生の予防等、市家畜防疫協会を中心に情報提供や予防接種を促すことで、大きな病気の発生もなく営農を行っている。 これは、安全・安心な畜産物の提供の他、周辺住民の生活環境の保持にも役に立っているため、今後も継続して行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	90
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	鳥獣被害対策事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 農政班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	
	予算事業名	鳥獣被害対策事業	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 1 農業生産基盤の充実	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	市内農家の効率のかつ安定的な農業経営に資するため、農地の基盤整備や優れた営農技術の導入を促進していくとともに、意欲的な担い手への優良農地の集積と遊休農地の解消のための取り組みを推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成23年度から(電気柵の設置)		
	事業の実施目的及び概要	有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、印西市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に、関係機関と連携を図りながら、計画的な捕獲及び防護柵の設置等を実施する。		
	対 象	有害鳥獣(イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラス等鳥類)		
	根拠法令・関連計画 等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 印西市鳥獣被害防止計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	印西市有害鳥獣被害防止計画に基づく、有害鳥獣の計画的な捕獲及び侵入防止柵の整備。	印西市有害鳥獣被害防止計画(H27-H30)の目標値は大幅に上回る結果となった。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		6,005,000		30,000	11,334,000	17,369,000
		予算現額		6,605,000		30,000	13,558,652	20,193,652
		決算額		5,864,200		30,600	12,046,857	17,941,657

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	印西市鳥獣被害防止計画により、農業被害を防止するため、有害鳥獣の駆除を実施する。						
	駆除従事者数(有資格者)	人			31	33	35
					31	33	42
成果指標	鳥獣駆除数	頭			520	520	520
					517	667	778

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イノシシ捕獲についての関心が高まり、狩猟免許取得促進事業補助金を活用した従事者の確保に努めた。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	猟友会の捕獲意欲の向上及び捕獲員の増加により、イノシシ捕獲は大幅に昨年度を上回る結果となった。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	イノシシについては、速効性のある取り組みがないため、地道に捕獲と防除を進めていく。被害地域全体で有害鳥獣対策に取り組んでいく必要がある。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	駆除数は目標を上回る結果となっているが、イノシシの生息数は減少傾向には無いため、事業の拡大を図り、被害農家の理解と、被害地域の協力体制の構築を図り、計画的な捕獲と、適正な防除対策を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	91
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	新規就農促進事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	新規就農促進事業	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - 2 意欲ある多様な農業者の育成と支援	スマイルプラン	
	施策の方向性	関係機関等との連携のもと、農業者後継者や新規就農者の育成や支援に努め、農業版ハローワーク事業等の実施により農業労働力の確保を図る。		
事業内容等	事業年度	平成25年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	安定した農業労働力を確保し、農業経営力の向上を図るため、農業版ハローワーク(求人、求職登録)や農業講座の実施、青年就農者確保・育成給付金の給付などにより新規就農を促進する。		
	対 象	市内の農地		
	根拠法令・関連計画 等	人・農地プラン		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・農業版ハローワーク事業の実施 ・市民農業講座の実施 ・青年就農者の確保育成支援	・農業版ハローワーク事業(求人登録者0名) ・市民農業講座(水稻2名*11回) ・青年就農給付金(5名・5,625,000円)	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		9,000,000		400,000	633,000	10,033,000
		予算現額		9,000,000		400,000	633,000	10,033,000
		決算額		5,625,000		40,000	255,967	5,920,967

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	新規就農促進事業対象数	戸	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	6	5	5
	農業研修の実施	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2
成果指標	農業研修の受講者数	人	目標値	20	20	20	20
			実績値	11	8	6	6
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	D 目標値を下回る	新たな担い手として新規就農者の確保に努める。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	一部事業を見直し検討する。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	農業後継者や新規就農者の育成や支援に努めるとともに、農業版ハローワーク事業等について開催方法等の一部見直しを行い、各種事業の実施により安定した農業労働力の確保に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	92
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地産地消推進事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	地産地消推進事業・産業まつりに要する経費	主要事業	○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 農業を通じた地域の振興	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりを推進していきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業に関する理解と関心を深め、農業を通しての地域振興を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成20年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	基幹産業である農業の振興及び生産技術の向上を図るため、消費者と生産者の交流を推進し、地元農産物等の地産地消を推進する。		
	対 象	生産者及び消費者		
	根拠法令・関連計画 等	印西市地産地消推進計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・産業まつりの開催 ・地産地消推進検討委員会による消費拡大の検討 ・農産物の地産地消推進	・平成27年11月7日(土)にピックアップ駐車場にて「いんざい産業まつり」を開催した。 ・印西市地産地消推進検討委員会を開催し、地産地消推進の検討を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					3,669,000	3,669,000
		予算現額					3,668,928	3,668,928
		決算額					2,382,077	2,382,077

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	産業まつり参加者団体等	数	目標値	45	45	50	50
			実績値	44	44	52	54
			目標値				
			実績値				
成果指標	産業まつりアンケート回収数	枚	目標値	300	300	300	300
			実績値	300	300	300	298
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	いんざい産業まつり等の実施により、消費者と生産者の交流を図り、地元農産物の消費を拡大し、地産地消の推進に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	93
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	農産物等販売促進事業	
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班	
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画
	予算事業名	(地方創生)農産物等販売促進事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 農業を通じた地域の振興	スマイルプラン スマイル1
	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりを推進していきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業に関する理解と関心を深め、農業を通しての地域振興を図っていきます。	
事業内容等	事業年度	平成27年度	
	事業の実施目的及び概要	地元農産物の販売促進及び地産地消を促進することで、生産者の生産意欲の向上や農産物の消費拡大に寄与するため、移動販売に係る経費の支援などによる農産物等販売促進事業を推進する。	
	対 象	生産者等	
	根拠法令・関連計画 等	印西市地産地消推進計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	農産物等販売促進事業 (移動販売に要する経費への助成)	農産物等販売促進事業 (移動販売に要する経費への助成)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					6,000,000	6,000,000
		予算現額					6,000,000	6,000,000
		決算額					5,471,000	5,471,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	農産物等年間販売額	千円	目標値				8,960
			実績値				1,757
			目標値				
			実績値				
成果指標	農家年間収入額	千円	目標値				7,616
			実績値				1,494
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	補助事業者による事業内容の検討に時間を要したため、当初9月からの販売予定が12月後半になり販売期間が短かったことによる。
成果に対する評価	D 目標値を下回る	補助事業者による事業内容の検討に時間を要したため、当初9月からの販売予定が12月後半になり販売期間が短かったことによる。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	補助事業者による事業内容の検討に時間を要し、事業開始時期が大幅に遅れたため、成果指標等は計画を下回る数値であったが、実施期間中は多くの方々に利用され、販売箇所の拡大要望等も上がっていることから、事業効果は上がっていると考えられる。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
5 終了	市補助事業としては終了するが、事業主体である西印旛農業協同組合によって引き続き、農産物等販売促進事業(移動販売車による農産物等の市内巡回販売)を継続し、地元産農産物の地産地消の推進を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	94
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	市民農園振興事業			
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班			
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	ふるさと農園振興事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 農業を通じた地域の振興	スマイルプラン	スマイル1	
	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりを推進していきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業に関する理解と関心を深め、農業を通しての地域振興を図っていきます。			
事業内容等	事業年度	平成6年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	農業者以外の方に野菜等の栽培を通して農業への理解を深めてもらうことを目的に、市民農園の管理運営を行う。			
	対 象	印西市内に住所を有する者			
	根拠法令・関連計画 等	市民農園整備促進法			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	市民農園の管理・運営	・広報誌やホームページで市民農園の利用者募集を行った。 ・利用者が、作物の栽培に関する疑問等を解決するための現地栽培指導を行った。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				1,409,000	598,000	2,007,000
		予算現額				1,409,000	2,084,080	3,493,080
		決算額				1,534,500	1,576,356	3,110,856

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民農園利用の啓発回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	1	2	2
	現地栽培指導の回数	回	目標値	24	24	24	24
			実績値	10	16	18	16
			目標値				
			実績値				
成果指標	市民農園利用率 (全290区画)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	97	95	100
	市民農園利用人数	人	目標値	215	215	220	220
			実績値	234	246	242	259
	栽培指導相談件数	件	目標値	50	50	50	50
			実績値	93	120	98	59

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き市民農園利用の啓発としてホームページや広報で周知を行うとともに、栽培指導員による栽培指導を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	95
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	(仮称)市民農場整備事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	(仮称)市民農場整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 農業を通じた地域の振興	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりを推進していきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業に関する理解と関心を深め、農業を通しての地域振興を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	印旛高校跡地を活用する市民農場の整備に要する事業		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	印旛高校跡地活用基本計画(平成23年9月) 平成23年度印旛高校跡地活用基本設計業務委託報告書(平成24年11月)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・市民農園整備等設計	・市民農園整備等設計	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					6,378,000	6,378,000
		予算現額					4,892,000	4,892,000
		決算額					3,924,000	3,924,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	用地取得率	%	目標値			100	
			実績値			100	
	設計進捗率	%	目標値				100
			実績値				100
	成果指標		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画どおり実施設計が完了したため、今後整備を推進していく

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	整備に向けた実施設計が完了したため、引き続き整備を進めていき、市民が農業への理解を深めることができるよう、農業に親しむ機会の拡大に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	96
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	多面的機能・環境保全向上対策事業		
	担当部署名	環境経済部農政課 振興班		
	款項目及び予算名	5款1項3目 農業振興費	新市基本計画	○
	予算事業名	多面的機能・環境保全向上対策事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 農業を通じた地域の振興	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりを推進していきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業に関する理解と関心を深め、農業を通しての地域振興を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から平成28年度まで		
	事業の実施目的及び概要	農村環境の高齢化、混住化等に伴う集落機能の低下により、農地及び施設の適切な保全・管理が困難となってきた。そこで、農業者だけでなく地域住民や都市住民も含めた多様な参画を得て資源の適切な保全管理を行う。		
	対 象	市の認定を受けた活動組織及び活動区域		
	根拠法令・関連計画 等	多面的機能支払交付金実施要綱 (平成26年4月1日25農振第2254号農林水産事務次官依命通知) 環境保全型農業直接支援対策実施要綱 (平成26年4月1日25生産第3417号農林水産事務次官依命通知)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・市内の農地、農業用施設の保全活動及び植栽活動等多面的機能支払交付金を活用して活動を行う組織に対して支援を行う。 ・環境保全型農業に取り組む団体への補助。	・市内の多面的機能支払交付金の活動組織である発作カワセミ会、中ノ口ホテル会、将監環境保全会、笠神地区環境保全会の4組織に対して交付金を交付し、活動に対して指導や成果の確認を行った。 ・環境保全型農業に取り組む1団体に補助金の交付を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		12,261,000			3,954,000	16,215,000
		予算現額		12,261,000			3,954,000	16,215,000
		決算額		12,176,144			3,921,916	16,098,060

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	推進事業	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	3	4	4	4
	活動確認事務	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	3	4	4	4
			目標値				
			実績値				
成果指標	活動組織数(累計)	数	目標値	2	2	2	2
			実績値	3	4	4	4
	実践活動実施割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	多面的機能支払交付金及び環境保全型農業の規模の拡大を図り、農地、農村の環境整備を図り、地域農業の振興を図っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	97
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	企業誘致推進事業	
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班	
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画 ○
	予算事業名	企業誘致推進事業	主要事業 ○
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 1 企業誘致の推進	スマイルプラン スマイル3
	施策の方向性	東京・成田国際空港を結ぶ交通軸上に位置するといった立地優位性や強固な地盤、企業の需要に対応できる十分な区画面積の確保などの強みを活かしながら、千葉ニュータウン区域や松崎工業団地を中心に積極的な企業誘致活動を展開し、税収や雇用の場の確保、さらには若者の定住による活力あるまちづくりにつなげていきます。	
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	ニュータウン事業者や千葉県等関係機関と協力しながら優良な企業を誘致するため、企業の立地条件の整備や企業立地奨励金の交付などを行い、PR活動を展開する。 また、関係機関と連携し、成田地域との連絡性を踏まえた空港関連施設など、ニュータウン区域の業務施設用地等への立地を促進する。	
	対 象	企業	
	根拠法令・関連計画 等	印西市企業誘致基本方針(平成20年11月)、印西市企業立地促進条例	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・企業誘致に関する情報収集及びPR活動の実施 ・立地企業へ奨励金の交付	・松崎工業団地で1件、千葉ニュータウン区域で5件が契約を締結 ・立地奨励金5社へ交付

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					234,804,000	234,804,000
		予算現額					234,804,000	234,804,000
		決算額					234,775,020	234,775,020

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	企業訪問件数	件	目標値	24	24	24	24
			実績値	6	20	20	10
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
成果指標	NT業務用施設用地の活用率	%	目標値	65	70	75	80
			実績値	61	67	68	72
	松崎工業団地の活用率	%	目標値	95	100	100	100
			実績値	96	97	99	100
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	企業からの問い合わせが少なくなったことから目標値を下回る結果となっている。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	分譲が進んでいる状況であるが、まだ事業用地が残っていることから、関係機関と連携を密にしながら企業誘致に努めていく。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	未処分地があることから、東京・成田空港を結ぶ交通軸上に位置するといった立地優位性や強固な地盤、企業需要に対応できる区画面積の確保などの強みを活かし、企業立地の促進を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要				事業番号	98
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	商工業の活性化事業			
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班			
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	中小企業資金融資事業・商工振興対策事業	主要事業	○	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 2 商工業活性化の推進	スマイルプラン		
	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。			
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	商工会が行う商工業者支援や地域振興事業を支援するとともに、地域特性を活用するための事業を推進し、地域商業等の活性化を促進する。また、中小企業経営基盤の安定強化や、魅力ある商店街を形成するため、商店街の組織化や商業環境改善に向けた取り組みに対し、関係機関と連携しながら支援をする。			
	対 象	市民			
	根拠法令・関連計画 等	印西市中小企業資金融資条例、印西市商工業振興事業補助金交付要綱			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・中小企業への融資及び利子補給 ・巡回指導や経営診断、研修会など、商工会事業への補助	・新規融資11件、74,500,000円、利子補給46件、3,483,551円 ・商工会事業へ補助金の交付 ・商工会経営指導員による相談及び指導2136回		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				25,000,000	17,632,000	42,632,000
		予算現額				25,000,000	17,632,000	42,632,000
		決算額				25,000,000	16,580,491	41,580,491

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	経営指導回数	回	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	2,333	1,686	2,557	2,136
			目標値				
			実績値				
成果指標	商工会員数	件	目標値	900	950	1,000	1,050
			実績値	898	890	906	922
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	商工会経営指導員による巡回指導や中小企業への融資制度の継続を図るとともに、商工会と連携を密にし商工業の振興を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

				事業番号	99
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域活性化の推進			
	担当部署名	企画財政部ふるさとづくり推進課 ふるさとづくり推進班			
	款項目及び予算名	2款1項7目 まちづくり推進事業費	新市基本計画	○	
	予算事業名	地域活性化の推進に要する経費	主要事業	○	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3-②-2 商工業活性化の推進 5-①-2 市街化区域の都市機能の向上	スマイルプラン		
	施策の方向性	3-②-2 商工業活性化の推進 時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。 5-①-2 市街化区域の都市機能の向上 市街化区域の都市機能の向上を図るため、木下駅、小林駅周辺を中心に市街地の整備を推進していきます。			
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	木下駅周辺地区においては中心市街地活性化基本計画及び印旛高校跡地活用基本計画に基づき、また、小林駅周辺地区においては小林地区活性化計画に基づき、それぞれの駅圏ごとの地域特性を活かした市街地形成や地域の活性化を推進するため、市民主体のまちづくり活動の支援を目的とした研修会、講演会を実施する。			
	対 象	市民全般			
	根拠法令・関連計画 等	印西市都市マスタープラン、印西市中心市街地活性化基本計画、小林地区活性化計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・担い手育成事業(懇話会、研修会の実施) ・都市再生整備計画の進行管理	・木下地区、小林地区の懇話会を開催し、実施事業等に関して、市民との検討、合意形成を図った。 ・都市再生整備計画の進行管理については、国費の交付手続きを実施し、今年度をもって事業が完了した。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					3,589,000	3,589,000
		予算現額					2,982,000	2,982,000
		決算額					2,845,646	2,845,646

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	担い手育成事業 (懇話会、視察研修、勉強会の実施)	回数	目標値	13	13	10	10
			実績値	11	8	5	2
			目標値				
			実績値				
	都市再生整備計画(木下駅周辺地区) の進捗率	%	目標値	9	55	78	100
			実績値	7	31	37	100
成果指標	都市再生整備計画(小林・牧の原地区) の進捗率	%	目標値	48	87	100	
			実績値	48	66	100	
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	懇話会、研修会等の機会の減少により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	担い手育成事業については計画を下回っているものの、都市再生整備計画の進捗率は概ね目標値どおりである。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	事業を見直す。 都市再生整備計画については、平成27年度をもって事業完了。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

		事業番号	100
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	プレミアム付き商品券発行事業	
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班	
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画
	予算事業名	(地方創生)プレミアム付商品券発行事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 2 商工業活性化の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。	
事業内容等	事業年度	平成26年度・平成27年度	
	事業の実施目的及び概要	市内における消費の拡大及び地域経済の活性化を図るため、消費喚起効果の高いプレミアム付商品券を発行する。	
	対 象	印西市民	
	根拠法令・関連計画 等	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)など	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・プレミアム付商品券の発行。 ・利用者アンケート等の実施。	・プレミアム付商品券38,000冊発行、販売実績37,853冊 ・取扱参加店舗269店舗 ・換金実績490,935,000円、換金率99.8%

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)	66,782,000	47,372,000			28,722,000	142,876,000
		予算現額	66,782,000	47,372,000			28,722,000	142,876,000
		決算額	65,238,609	47,078,083			26,620,348	138,937,040

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	発行部数	部	目標値				38,000
			実績値				37,853
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
成果指標	消費喚起額	千円	目標値				494,000
			実績値				490,935
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
5 終了	国の緊急的な取り組みとして、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金が交付され、プレミアム付商品券発行事業を行ったが、単年度限りの事業のため平成27年度で終了となる。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要				事業番号	101
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	経済活性化推進事業			
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班			
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	経済活性化推進事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 2 商工業活性化の推進	スマイルプラン		
	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。			
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	TDUいんざいイノベーション推進センター(東京電機大学内)の運営や「交流会」「研究会」への支援、講座やセミナーの開催など、企業・大学等との連携のもと、起業や事業化を支援し、地元に根付く企業の育成や新ビジネスの創出を図る。			
	対 象	企業・起業家・市民			
	根拠法令・関連計画 等	印西市産学官連携等促進事業補助金交付要綱			
	年度	年度計画の内容		年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・TDUいんざいイノベーション推進センターの運営支援 ・産学官連携による「交流会」の開催及び「研究会」への支援		・TDUいんざいイノベーション推進センター事業へ補助金の交付 ・産学連携オフィス3社入居 ・産学官連携交流事業、市民対象講座開催事業等の実施 ・印西市、商工会との連携事業の実施	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					9,000,000	9,000,000
		予算現額					9,000,000	9,000,000
		決算額					8,652,000	8,652,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	産学官交流会開催数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	3	3	3
	セミナー等開催回数	回	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	10	10
			目標値				
			実績値				
成果指標	イノベーションセンター入居者数(全4室)	者	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	3
	セミナー等参加者数	人	目標値	180	180	180	180
			実績値	364	442	588	447
	事業化研究会設置数	件	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	1	0	0

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	産学官連携により「NPO法人TDUいんざい産学官推進センター」が実施している講座・セミナー等の事業について、平成30年4月に東京電機大学のキャンパスが移転される予定であることから、平成28年度を目途に補助金の継続・廃止についての判断をしていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要				事業番号	102
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	観光振興事業			
	担当部署名	環境経済部経済政策課 地域資源振興班			
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画	○	
	予算事業名	観光振興対策事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 2 商工業活性化の推進 3 - - 1 観光推進体制の強化 3 - - 2 観光資源の創出と活用	スマイルプラン		
	施策の方向性	3 - - 2 商工業活性化の推進 時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。 3 - - 1 観光推進体制の強化 市観光協会やボランティアなど市の観光を推進していく体制や観光客等を受入れる体制の強化・充実を図っていくとともに、積極的な市内観光情報の発信により、より多くの観光客等の誘客につなげていきます。 3 - - 2 観光資源の創出と活用 本市が持つ自然、田園風景、歴史、伝統文化など各地域に存在する観光資源を再評価し、その魅力をいっそう高めて活用していくとともに、潜在している観光資源の発掘や創出、また、観光資源のネットワーク化を図り、地域振興につなげていきます。			
事業内容等	事業年度				
	事業の実施目的及び概要	観光に関するパンフレットやホームページを活用し、郷土芸能、祭り、イベント等の情報を提供する。また、新たな地元産品創出に対する支援や印西市マスコットキャラクター「いんざい君」の活用を図ることにより、特色ある地域資源を活かした観光事業の振興を図る。			
	対 象	市民			
	根拠法令・関連計画 等	印西市観光振興事業補助金交付要綱、印西市きおろし水辺の広場の設置及び管理に関する条例			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	・観光資源の環境整備・維持 ・観光パンフレットの配布及びHPによる情報発信 ・地場産品振興に対する支援 ・マスコットキャラクター「いんざい君」の活用 ・きおろし水辺の広場の維持管理	・各観光資源の観光客対策 ・観光パンフレットの配布及びHPによる情報発信 ・印西手焼きせんべいなど、マスコミを通じての情報発信 ・マスコットキャラクター「いんざい君」の活用 ・きおろし水辺の広場の維持管理		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					15,858,000	15,858,000
		予算現額					6,100,000	6,100,000
		決算額					4,923,147	4,923,147

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	企画提案型による自転車ルートマップ 配布枚数	枚	目標値	0	10,000	10,000	10,000
			実績値	30,000	20,000	10,000	5,000
	検討会議の開催回数	回	目標値	0	3	3	3
			実績値	14	6	3	3
	各種イベントにおける「いんざい君」等 でのPR回数	回	目標値	10	10	10	10
			実績値	13	11	14	12
成果指標	観光入込客数	人	目標値	900,000	900,000	910,000	910,000
			実績値	1,000,492	1,043,171	1,021,935	1,085,242
	観光ホームページ閲覧数/月	回	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	37,000	37,029	12,380	12,568
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後とも印西市の積極的なPR、情報発信に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	103
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	就労支援事業の充実	
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班	
	款項目及び予算名	6款1項2目 商工振興費	新市基本計画
	予算事業名	商工振興対策事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	3 - - 3 雇用対策の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	厳しい雇用環境の中、市民が安定的に就業できるよう、県や就労支援に携わる関係機関と十分に連携し、就労促進を図っていきます。	
事業内容等	事業年度	平成16年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	経済社会環境、雇用環境の変化に伴った雇用に関する情報の提供を行うため、近隣ハローワークとともに、求職者に対し事業所の求人情報の提供を行うとともに、ジョブカフェちばなど、就職活動を支援する各機関と連携を図り、雇用機会の促進や就労支援を図る。	
	対 象		
	根拠法令・関連計画 等	市民	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・近隣ハローワークと連携した雇用情報提供等 ・各機関と連携したセミナー等の就労支援 ・市独自の就労支援サイトの運営	・ハローワーク成田、松戸、船橋の求人情報を提供 ・市就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・就労支援セミナー4回開催

2. 事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,000,000	1,000,000
		予算現額					1,000,000	1,000,000
		決算額					788,896	788,896

3. 指標及び実績値

	指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	求人情報更新回数	回	目標値	52	52	52	52
			実績値	52	52	52	52
	セミナー等開催回数	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	6	6	7	4
			目標値				
			実績値				
成果指標	セミナー等参加者数	人	目標値	100	100	100	100
			実績値	96	80	96	62
	就職決定者数	人	目標値	10	10	10	10
			実績値	13	11	5	3
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	セミナー参加者数、就職決定者数ともに目標値を下回っているが、就労支援システム(お仕事探しナビ)については、現在、登録企業400社以上、閲覧数3,000件/月となっており、一定の成果はあったものと考えている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	求人情報の提供をするとともに、県、近隣自治体及び関係機関と連携しセミナー等を開催して就労の促進を図る。